

インタラクティブラボラトリー沖縄

屋外から家電操作



照明機器の色を操作するインタラクティブラボラトリー沖縄の武田政樹会長。スマートフォンに表示された色に触れると照明機器も同じ色に変わる

11月19日、那覇市の琉球新報社

システム開発のインタラクティブラボラトリー沖縄(とうるま市、嘉数岩夫社長)は、インターネットを経由して家電や工場機器などの「モノ」を遠隔操作するIoT(インターネット・オブ・シングス)技術を活用したサービスを提供している。

LED照明の色をスマートフォンで遠隔操作する技術などを実演する。

IoT技術を活用すると、パソコンやスマートフォンなどを使い、エアコンの作動や冷蔵庫の温度などを屋外で操作することができる。消費電力を節約する効果も期待できるといふ。出展ブースでは、

武田政樹会長は「学生にはぜひIoTを含めた技術に興味を持ってもらいたい。企業にも機器制御などで困ったことがあればぜひ相談してほしい」と呼び掛けた。

同社は他にも、県内施設の展示を多言語化するスマートフォン向けのアプリ開発や、AR(拡張現実)コンテンツのシステム開発などを通して沖縄観光の振興にも取り組んでいる。

つり当日はちゅらWayを
実際に体験できるほか、そ

は、世界遺産を貸し切りで

を活用する。2014年11

月の開発登録した。存のツールを組み立てるだけで管理アプリが作成でき